

特集

はじめまして、絵本。
一緒に楽しい本の旅、
絵本の世界に出掛けよう。

ぼくは、
うらしまたろう。
かめさんにのって
ぼうけんだ。



絵本のプレゼント 「ブックスタート事業」開始

町は8月から、4カ月の赤ちゃんに絵本をプレゼントする「ブックスタート事業」を始めます。

この事業は、絵本の読み聞かせなどを通じて、親子のふれあいの機会をつくることを目的としたものです。健康課が実施する「にこにこ4カ月相談」で、左で紹介している4冊の本のうち、いずれか1冊をお渡しします。

4カ月で配布する理由は

「4カ月の赤ちゃんに絵本は早いんじゃないの」
言葉を話せない赤ちゃんに、絵本の読み聞かせは早いと思うか

読み聞かせの効果

おもちゃではなく、「絵本」をプレゼントすることにも意味があります。「最近、スマートフォンやゲームなどで赤ちゃんをあやすという人もいます。でも、それでは得られないものが絵本の読み聞かせにはあります」と話す向井保健師。「膝に抱っこして絵本を読むと、自然と肌のぬくもりや温かな声の響きが伝わり、赤ちゃんに安

絵本とお友達になろう

4カ月の
はじめまして

もしれません。でも、親にとっても赤ちゃんにとっても、4カ月が開始するには良い時期だと健康課の向井美弥保健師は話します。
「4カ月の赤ちゃんは生活のリズムができ、日中機嫌良く過ごすことが多くなります。笑顔も増え、声を出したり親の顔や目をじっと見つめたりと、反応が分かります。膝に抱っこしやすくなるため、絵本と一緒に始めるのにピッタリです。親も育児に少し余裕が出てくる頃だと思います」

心感が生まれます。この積み重ねが愛着を育むことにつながります。赤ちゃんと同じ「気持ち」『時間』『空間』を共有できるものが絵本です」と続けます。

もっと絵本に親しもう

ブックスタート事業は、絵本との関わりを始めるための一つのきっかけです。次のページからは、絵本の選び方や読み聞かせのコツなどを紹介していきます。

ブックスタートで配布する本

どの本がプレゼントされるのかはお楽しみ。配布する本は随時更新し、年度内に保育所、幼稚園や小児科などにも配布予定です。

▼じゃあじゃあびりびり

まついのりこ 作・絵 / 偕成社

リズムが心地よい擬音語で、車などの身近なものが描かれており、日常生活の言葉掛けにつながります。



▲ぴょーん

まつおかたつひで 作・絵 / ポプラ社

動物などの動きを縦開きで楽しく見られます。動物などの動きに合わせて赤ちゃんを持ち上げても楽しめます。



▼がたんごんがたんごん

安西水丸 作 / 福音館書店

繰り返しの言葉や展開で楽しく読めます。赤ちゃんを膝に乗せ「がたんごん」と揺らしながら読みましょう。



▲だるまさんが

かがくいひろし 作 / ブロンズ新社

だるまさんのユニークな動きに赤ちゃんが引き込まれます。絵本に合わせて赤ちゃんを動かして楽しみましょう。



INTERVIEW

赤ちゃんにとって、自分の大好きな人が、自分の方を向いて、自分だけのために話しかけてくれることは、きっと心地よく楽しく満たされた時間であるに違いありません。でも、どんな風に話しかけたらいいのか悩む親にとっても、絵本は心強い味方になってくれます。にこにこ4カ月相談の会場で、絵本を手渡しでプレゼントします。来られなかった人にも、別の機会にお渡しする予定です。絵本を上手に使って赤ちゃんに触れ合い、スキンシップ遊びなどで親子の時間をぜひ楽しんでくださいね。

◆おすすめの本

「おやこでぎゅっ！」
まつばらいわき 絵 / ひかりのくに
スキンシップ遊びにつながる本です。

健康課保健センター係
向井美弥保健師



ライブラリー以外でも 絵本を借りて読もう

絵本を借りることができる場所は、ふるさとライブラリーだけではなくありません。あなたの身近な場所で貸し出しを行っています。ぜひ利用してください。

①子育て支援センター

1人1冊、2週間借りることができます。

☎支援センター ☎ 985-4151

②児童館

1人5冊、2週間借りることができます。

☎児童館 ☎ 985-3388

③東・西・北公民館

冊数や期間は公民館によって異なりますので、それぞれお問い合わせください。

☎東公民館 ☎ 984-1159

西公民館 ☎ 984-5313

北公民館 ☎ 984-7529



④絵本コーナーの一角の「ファーストブックコーナー」（写真中央） ⑤絵本の選び方や読み方のコツなどが書かれている ⑥テーマ別に、ライブラリー職員のおすすめの絵本が紹介されている



「のんたん」シリーズが好きで、「もう1回読んで」と言われます。絵本は、早い段階から一緒に読んでいました。初めはぺらぺらめくただけだったのが、いろんなことを理解してきて絵本を読んで笑うようになってきてー。子どもの成長を見るとすごいなと思います。

松岡結さん 結愛ちゃん

先輩ママの
おすすめの絵本

乗り物が好きなようで、「かんかんかんでんしゃがくるよ」の絵本が大好きです。3カ月のころから、開いているだけでしたが絵本を使っています。本格的に読み聞かせを始めたのは、7～8カ月ころです。今では夜寝る前に1冊読むようにしています。

田中利奈さん 芯くん



いっぱいある絵本… どんな本を読んだら 赤ちゃんは喜ぶの

絵本を通じて赤ちゃんに触れたいと思っても、どんな本を選べばよいか分からない人はいませんか。選び方のポイントを聞いてみましょう。

身近なものが
描かれた
「ものの絵本」

スプーンさん

中川ひろたか 文
100% ORANGE 絵
プロンズ新社

言葉の響きが
楽しくリズムが
心地よい

もけら
もけら

山下洋輔 文、元永定正 絵
福音館書店

ボードブック
(本の角が丸い
厚紙仕立ての本※)

だあれだ
だれだ?

うしろよしあき 文
長谷川義史 絵 / ポプラ社

手や体を
動かしながら
親子で楽しめる

ペンギん
たいそう

齊藤慎 作
福音館書店

しかけ絵本
(くり抜き・めくる
しかけを楽しむ本)

だっこ

きむらゆういち 作・絵
ひさかたチャイルド



絵本の選び方のポイント
上を参考にしてみてください

ふるさとライブラリー
阪東展さん



私のおすすめの絵本

▶ きんぎょが
にげた



五味太郎 作、
福音館書店

色彩が美しいです。赤ちゃんと一緒にきんぎょを探してみてください。

▶ まんまんぱっ!



長野麻子 作、
長野ヒデ子 絵 / 童心社

赤ちゃんの発音しやすい音でつづられた親子で楽しめる本です。

ファーストブックコーナー

より具体的におすすめの本を知りたい人は、ぜひふるさとライブラリーに足を運んでください。ライブラリーでは、絵本コーナーの一角に、0～2歳児対象の「ファーストブックコーナー」

とある。絵本を選ぶ五つのポイントを教えてくれたのは、ふるさとライブラリーに勤める阪東展さんです。特に「赤ちゃんと一緒にやりとり遊びが楽しめる絵本や、身の回りにあるものや身近な人が描かれた絵本は、読み聞かせが苦手な人も緊張らず親しむことができている」と話します。

まずは、親自身が読みたいと思った本から始めてみてほしい



読み聞かせボランティア SAY

(写真左から)
池田美智子さん
八木代志子さん
米家郁美さん

子育て支援センター
「ブックフレンドパーク」
のサークルで読み聞かせを
しています(毎月第1月曜日)。



心掛けていることは、写真や絵が多いものや「しかけ絵本」を使い、楽しみつつ、親子で言葉掛けをしながら遊べる「参加型」の読み聞かせです。本に描かれている絵を指差したり、書かれた言葉を繰り返したりして、子どもとの言葉のキャッチボールができたらいいですね。

兵頭賢さん、瑞枝さん、朋樹くんファミリー。
お母さんが読んでくれる絵本のカラフルな絵に興味津々。お父さんの膝の上で、安心して絵本を見えています。「絵本をまた探しに行つて、一緒に見ようね」

本を配布する「にこにこ4カ月相談」では、保健師、保育士、ライブラリー職員、子育てサロンスタッフが参加しています。読み聞かせのことなどで不安なことがあれば、気軽に相談してください。



読書する習慣を育む

「一緒に本を楽しむ」機会を増やすことは、子どもたちの読書習慣を育む上でも大切です。「4カ月での絵本との出会い」をきっかけとして、さまざまな本に親子で親しみ、豊かな読書習慣を育んでいきましょう。



読み聞かせボランティア

松前おはなしを楽しむ会

坂本早苗さん

ふるさとライブラリー
主催のおはなし会で
読み聞かせをしています
(日程はライブラリーのページ)。



「ちゃんと読み聞かせないといけない」と思うのではなく、本に触れ合うということが大切です。子どもの表情を見て、会話しながら「一緒に楽しむ」ためのツールとして絵本を使ってみてください。上手下手ではなく、身近な人の声で読み聞かせをするだけで、赤ちゃんの気持ちは落ち着いて喜んでくれます。

私のおすすめの絵本は「いないいないばあ」です。この絵本を読んだ後、親子で「いないいないばあ」をして遊ぶのも楽しいですよ。

いないいないばあ
松谷みよ子 文
瀬川康男 絵
童心社



赤ちゃんに絵本は「読むもの」という認識はありません。投げたり、叩いたり、なめたりしても、まずは遊ばせてあげましょう。そうすることで、絵本は「食べられない」「パラパラめくることができる」と理解していくようになります。

絵本を選んだけれど…

どんな風に読んだら 赤ちゃんは喜ぶの

初めての読み聞かせ、なかなか上手にできない…
読み聞かせをしても反応してくれない…
こんな風に不安に思ったり悩んだりしていませんか。
読み聞かせの達人にコツを聞いてみましょう。

絵本を通じた会話を楽しむ

上で紹介しているように、乳幼児期の読み聞かせは、「絵本を通じて会話や触れ合いを楽しむ」という面が強いことが分かります。皆さんも堅苦しく考えず、楽しんで読み聞かせをしてみましょう。そうすることで、赤ちゃんの興味や関心を知り、新たな絵本選びにつながるほか、機嫌が悪い赤ちゃんを笑顔にするなど、子育てのヒントを見つけることができるかもしれません。